

仁徳天皇陵古墳 提供：堺市



2019夏、世界遺産登録をめざす 「百舌鳥・古市古墳群」

関西6府県で唯一世界遺産が所在しない大阪が、初の登録をめざす百舌鳥・古市古墳群。巨大な前方後円墳 仁徳天皇陵古墳をはじめ多様な古墳の集積は世界的にも珍しい。古墳群の価値や特徴、19年夏の登録に向けた取り組みについて、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録有識者会議メンバーで大阪府立近つ飛鳥博物館名誉館長の白石太一郎さん、同推進本部会議事務局の大阪府・犬伏威之さんと堺市・十河良和さんに聞いた。



世界文化遺産を大阪に
百舌鳥・古市古墳群

大阪南部の古墳群

大阪南部、堺市・羽曳野市・藤井寺市にまたがる「百舌鳥・古市古墳群」。国内最大の前方後円墳である仁徳天皇陵古墳をはじめ、大小さまざまな多数の古墳が残る。この貴重な古墳群を世界遺産に

――大阪府と3市が共同で、文化庁に提案したのは、07年のことだ。その後、文化庁との協議や有識者への意見聴取などを行い、17年に国内推薦が決定。18年1月にユネスコへ推薦書を提出し、9月にはICOMOS（世界遺産委員会）の諮問機関）による現地調査を

終え、順調にいけば、19年夏に世界遺産に登録される見込みだ。

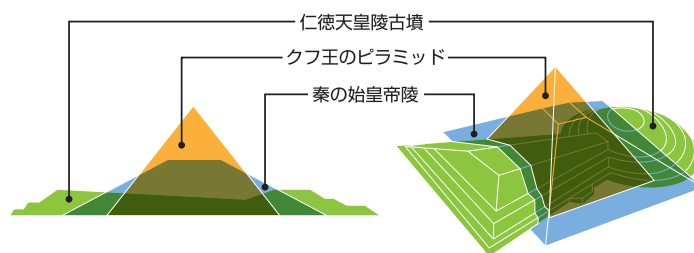
人類共通の遺産

そもそも世界遺産とは、顕著な普遍的価値、つまり国家間の境界を超越し、人類全体にとって現代および将来世代に共通した重要性



上／仲哀天皇陵古墳 中／白鳥陵古墳 下／鍋塚古墳
提供：百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議

世界3大墳墓比較



	仁徳天皇陵古墳	クフ王のピラミッド	秦の始皇帝陵
全長	約486m	約230m	約350m
高さ	約35.8m	約146m	約76m
体積	約140万㎡	約260万㎡	約300万㎡

を持つような、傑出した文化的意義を有するものとされる。では、百舌鳥・古市古墳群の価値は？「日本独特の巨大な前方後円墳であり、秦の始皇帝陵やクフ王のピラミッドと並ぶ、最大規模の王墓群。人類共通の遺産であることは間違いない」と、当初から有識者会議メンバーとして活動してきた白石さんは語る。そしてその価値は、古代日本の政治や文化を知る上で大きな手がかりを与えてくれる点にある、と続ける。

古墳とヤマト政権

古墳の造営はヤマト政権と密接な関係にあり、3世紀半ばから4世紀半ばまでの巨大な王墓は、すべて奈良盆地東南部に集中している。ところが4世紀末から6世紀さらに大きな古墳が大阪南部につくられた。それが、現在の百舌鳥・古市古墳群だ。その巨大な前方後円墳の多くは、それぞれの造営時期における最大規模を誇り、王墓とみて間違いない。周囲には、臣属

（臣下・家来）や関係者の身分に応じてつくられた墓、「陪塚」と呼ばれる中小の古墳を伴う。「古墳は各政治勢力の本拠地につくられるのが原則。ヤマト政権は、大和・河内・和泉に中心的な地域基盤を置く首長連合であり、4世紀末以降は大阪南部の勢力が実権を握ったと考えられます」（白石さん）

背景には、当時、東アジアで日本、すなわち倭国が置かれた状況がある。倭国は、高句麗と



築造当時復元図 上／百舌鳥エリア 下／古市エリア 提供：堺市



4世紀の日本と朝鮮半島

敵対していた百済からの要請で、朝鮮出兵を決める。東アジア情勢が変化するなか、邪馬台国から続く古い呪術的性格の強い大和の王権では対応が難しい。朝鮮半島との外交・交易を担っていた大阪南部の勢力に政治のリーダーシップが移ったのは当然と考えられる。

古代日本の文明開化

巨大墳墓は中国も朝鮮諸国も都に集中しているが、日本では各地に見られる。百舌鳥エリアで5世紀初めに造営された国内3位の規模の履中天皇陵古墳と、岡山県の造山古墳は、ほぼ同時期・同規模でよく似ている。これは朝鮮出兵が畿内だけでなく首長連合として各地の首長の力をも借りて行われ

類共通の遺産を守り続けていくことだ。登録されれば、維持管理を徹底し、保存状況を報告する義務がある。府と3市、宮内庁も含めて役割分担を決めて、保存管理体制を整えている。

1500年以上、自然災害にも耐え抜きながら、地元で守られ続けてきた古墳群。貴重な文化遺産を次世代へ引き継ぐためにも、大阪初の世界遺産登録に期待が高まる。

躍



副葬品
上／菅田丸山古墳出土馬具
提供：百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議
右／銭塚古墳出土土門筒埴輪
提供：大阪府教育委員会



たことを示し、地方の豪族にも王墓と同規模の古墳造営を認めざるを得なかった事情を現している。副葬品にも特徴がある。当時、渡来人が多様な技術や文化を伝えた。応神天皇陵古墳の陪塚（菅田丸山古墳）から出土した金銅装馬具類などは、それ以前の大和の王墓には見られないものだ。魏志倭人伝に「牛馬なし」と記されていたように古く日本に牛馬はおらず、朝鮮出兵に際し同盟国である百済から多くの技術者が渡り、馬・馬具の生産、乗馬の技術を伝えたことがわかる。陶器技術の伝来もこ



応神天皇陵古墳 提供：堺市

災害に耐え、次の世代に

さる9月のICOMOS現地調査では、申請している49基の古墳

の保存状況などを1週間かけて確認。19年5月頃「登録」勧告がなされれば、夏の世界遺産委員会で登録が確定する。「49基すべて認められ、大阪初の世界遺産になってほしい」と犬伏さんは願う。

世界遺産になれば、来訪者の増加が予想されることから、堺市では古墳群についての「学び」「交流」「周遊」を目的とするガイドンス施設も計画中だ。「登録はゴールでなく新たなスタート。古墳と周辺環境を守り、来訪者に快く周遊していただけるよう、街並みと世界遺産が調和する環境整備を続けていきたい」（十河さん）

観光客の誘致効果はもちろんあるが、世界遺産本来の目的は、人



履中天皇陵古墳 提供：堺市